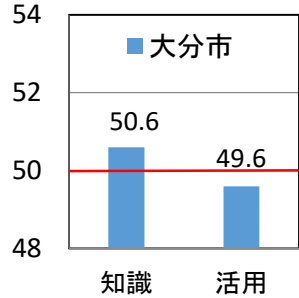
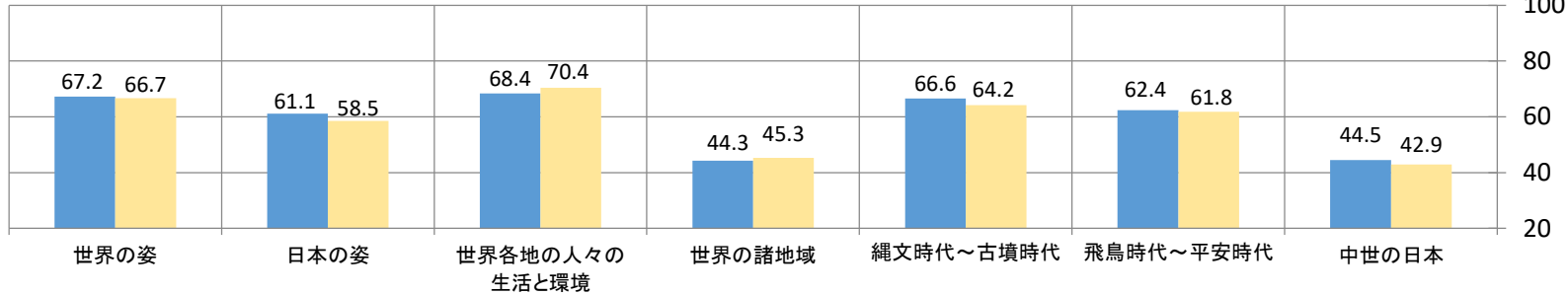


調査結果

知識活用別偏差値



問題の内容別平均正答率 (%)



分析Ⅰ

世界の諸地域 本調査問題 8 (1)

ヨーロッパ州の農業について、資料を基に考察することに課題が見られる。

◆考察◆

世界の諸地域の学習では、各州の地域的特色を大観し、理解させることが大切である。指導に当たっては、ヨーロッパ州の自然、産業などの学習内容の定着に向けて、地図や分類表を用いて基礎的・基本的な内容を確認させることが必要である。また、振り返りの場面で、学習内容の定着度を確認し、その場で復習させることも考えられる。

授業アイデア例

ヨーロッパの農業の特色等について学習した後の板書の一部を活用した振り返りの場面

国名は、地図帳等を用い、必ず位置を確認させましょう。

白地図に書き込ませ、位置を認識させましょう。



	酪農	混合農業	地中海式農業
オランダ・デンマーク	アルプス山脈より北 (フランス、ドイツなど)	アルプス山脈より南 (イタリア、ギリシャ)	
乳牛の飼育	穀物・飼料作物の栽培と家畜の飼育の組み合わせ	夏の乾燥に強い作物をつくる	
乳製品を生産 (バター、チーズ等)	ライ麦、小麦、じゃがいも、てんさい等栽培	夏はオリーブ、ぶどう、かんきつ類、冬は小麦	

※フランス・・・EU最大の農業国。世界有数の小麦の生産国、輸出国
※オランダ・・・チューリップ栽培を中心とした園芸農業も盛ん

分析Ⅱ

中世の日本 本調査問題 8 (3)

武士が力を付け始めた様子について、資料を基に考察し、表現することに課題が見られる。

◆考察◆

地方と都では武士の役割や、成長していく過程が異なっていることを理解させることが大切である。指導に当たっては、地方及び都の武士に関する資料から読み取ったことを基に、比較させたり、さらに地方の武士の様子について調べさせたりする活動を行い、都と地方の武士の違いについて、語句等を指定して表現させることが必要である。

授業アイデア例

導入：小学校で学習した源氏と平氏について触れた後、課題を設定する

武士はどのような役割をもち、成長していったのだろうか

＜資料Aと資料Bから読み取れること＞

資料A	資料B
<ul style="list-style-type: none"> ・門のところに弓矢を持った人が座っている。 ・建物のまわりが塀で囲まれ、堀もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・まわりによろいを身に付けた武士が座っている ・牛が立派な車を引いている

スクリーンに絵画資料のみ提示
(教科書P64の2枚の絵)

資料A(地方武士の様子)

資料B(都の武士の様子)

板書は、授業における生徒の思考の過程や学びの様子を残す大切なものです。スクリーンを用いる場合は、効果的な資料提示を心がけ、まとめの際は、構造的な板書となるように活用するなど、状況によっては取り外すようにしましょう。

読み取ったことを比較してみると、どのようなことに気付くかな？

資料Bは立派な車があるから、武士は、貴族のような身分の高い人を守っていたんだと思う。場所は都だね。

資料Aの建物は、塀や堀がある。簡単に侵入できないようになっているみたいだね。誰が住んでいるのかな？

そうだね。武士は誰が住んでいるところを守っているのだろうか。地方に暮らす武士に注目して調べてみよう。

地方では、自分の土地を守るために武装化した農民がいるね。

地方では、貴族と結び付いて、荘園に館を築いた武士もいるよ。

都と地方では武士の役割が異なることから、「都では」「地方では」のように書き出しを指定して、表現させるようにすることも効果的な方法の1つです。

諸外国の品目別自給率 (2018年) (試算)

	穀類	野菜類	果実類	牛乳・乳製品
A	176	72	65	104
B	10	347	39	157
C	82	43	13	88

農林水産省「食料需給表」(単位%)

次に今日の学習内容の確認です。右の表を見て、フランスとオランダはA～Cのうち、どれかな？地図や分類表を参考にして考えよう。

フランスは小麦が多いね。小麦は野菜類かな？穀類かな？

Bは牛乳・乳製品が多いね。酪農が盛んなオランダかな？

フランスはどのような農業が盛んだったかな？確認しよう。

振り返りで練習問題をさせることにより、理解度を確認するとともに、定着を図ります。このように地図や分類表を用いて考える活動を、他の地域の学習を行う際にも活用していきましょう。